

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|-------------------------|--|--|---|
| 家計動向 関連 (北海道) | 良くなる やや良くなる | - | - |
| | | 百貨店（販売促進担当） | ・客の購買単価が上昇していることから、消費者の購買意欲が一時期よりも確実に高まってきており、このまま季節が進めば、秋冬物に対する客の購買行動は積極的になる。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | ・先物への問い合わせが多く、例年にないほど新作の動きが活発なため、シーズンインすればもっと動きが出てくることになる。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | ・新型車の効果が期待できる。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | ・新型車効果が少なからず出てくることになり、販売台数の上乘せが期待できる。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | ・新型車両の発売予定があるため、今後は販売台数が前年を上回るようになる。実際、そのような予想で計画も立てている。 |
| | | タクシー運転手 | ・全国大会が開催される予定であるため、交流人口が増加し、客の動きが良くなることが期待できる。 |
| | | 通信会社（社員） | ・毎年恒例の人気商品が発売される時期であるため、来月以降、来客数、販売量ともに伸びてくることが期待できる。 |
| | 観光名所（従業員） | ・北海道新幹線開業後、開業効果で春、夏と利用客数が押し上げられ続けていることから、この先も秋、冬と季節が一巡するまでは開業効果が続く。 | |
| | 変わらない | 商店街（代表者） | ・客の様子をみる限り、何らかの外部要因がない限り、現状のままで推移する。 |
| | | 商店街（代表者） | ・高齢者を始めとして、商店街を利用する地元住民が冬に備えて消費を抑える時期であり、観光客などの来街も多くは期待できないことから、今後も景気のあまり良くない状態で推移する。 |
| | | 一般小売店〔土産〕（経営者） | ・8月の後半は台風の影響で交通機関が運休したことが売上に響いたが、前半の売上はとても良く、国内経済に起因するような要因は見当たらないため、今後も変わらないまま推移する。ただ、当地では人手不足による倒産が続いていることが気がかりである。 |
| | | 一般小売店〔土産〕（経営者） | ・今後も円高が続くとみられることに加えて、中国で海外で購入した商品を国内に持ち込む際の関税が引上げられたこともあり、訪日外国人の消費行動はモノよりコトという流れが強まることになる。そのため、外国人による売上は前年や前々年と比較してかなり落ち込むことになり、今後、こうした状況が数か月は続く。 |
| | | 一般小売店〔酒〕（経営者） | ・ここ数か月、消費に力強さがみられず、売上が弱含みで推移する状況が続いている。この先の景気が良くなる様子もみられないため、今後2～3か月は変わらないまま推移する。 |
| 百貨店（売場主任） | | ・来店客の様子をみると下見傾向が強く、購入率も上がりきっていないなど、慎重な姿勢が続いている。その一方で、中元商戦や大型催事の売上はほぼ前年並みとなっており、特別な機会への対応や値ごろ感のある商材に対する購買意欲は依然として強い。これらのことから、今後も景気は変わらないまま推移する。 | |
| 百貨店（担当者） | ・今後の景気が上向くような兆しは感じられない。ただ、悪化するような要因も見込まれないため、変わらないまま推移する。 | | |
| スーパー（店長） | ・天候不順や残暑が続くことで初秋物への購買意欲が落ち込むことが懸念される。 | | |
| スーパー（店長） | ・台風の影響で農作物の高騰が懸念される。客は価格に敏感なため、今後、節約志向が更に高まるとみられ、景気は変わらないまま推移する。 | | |
| スーパー（店長） | ・景気の方向性が変わるような大きな要因が見当たらないため、今後も変わらないまま推移する。 | | |
| スーパー（企画担当） | ・消費者の物分かりが良くなっており、高い行政サービスには高い税負担が必要という図式を納得するようになってきていることなどから、一般消費者の暮らしが想像以上にタイトになってきており、今後も厳しいまま変わらない。 | | |
| スーパー（役員） | ・8月はお盆の曜日並びが良くなかったこと、若い世代の考え方の変化でお盆の帰省客が減少したことなどが売上に影響したとみられるが、やはり地方においては、人口減少、独居家庭の増加などの要因によりじわじわと来客数が減少してきているため、今後も景気は変わらない。 | | |

| | |
|------------------|---|
| スーパー（役員） | ・北海道新幹線の開業効果が続いている。少なくとも秋までは観光客の増加が期待できるため、今後も変わらないまま推移する。 |
| コンビニ（エリア担当） | ・変わる要素がない。工事など、売上のプラスにつながるような外部要因も予定されていない。 |
| コンビニ（エリア担当） | ・天候要因での売上の増減はあるものの、売上の基本ベースに変化がないため、今後も変わらない。 |
| 衣料品専門店（経営者） | ・気象条件が変化しているのか、今後も台風が上陸しそうなため、観光客への影響が懸念される。また、水産業ではさんまの水揚げが今一つであること、農業では台風の影響などで玉ねぎやじゃがいもなどの作物に被害が出ていることから、地元経済への影響も懸念される。食品などの価格向上も懸念されるため、身の回りの景気は少なくとも秋までは厳しいまま推移する。 |
| 衣料品専門店（店長） | ・買上客数が増えてこない。前年を下回って推移しているため、今後も変わらないまま推移する。 |
| 家電量販店（経営者） | ・大型テレビや冷蔵庫の買換えサイクルの問題から、今後も大きな売上が見込めない。 |
| 家電量販店（店員） | ・今後の暖房機器の購買に期待している。 |
| 乗用車販売店（経営者） | ・軽自動車を除いた新車販売において、自社、当地区の市場全体とともに前年の水準を上回って推移しており、この順調さは当面続く。 |
| 乗用車販売店（経営者） | ・年末以降は新型車が発売されるため、多少は景気が上向くことを期待しているが、今後2～3か月については今の状況を大きく変えるような材料が見当たらない。 |
| 自動車備品販売店（店長） | ・来客数が落ち込んでいることから、今後の景気が上向くとは思えない。 |
| その他専門店〔医薬品〕（経営者） | ・来客数は安定し始めたが、高額商材の購買層が高齢化していることが気になりである。今後については中年層の取り込みが大きな鍵となってくる。 |
| 高級レストラン（スタッフ） | ・例年であれば、秋に向かって来客数が増えてくるが、客単価の低迷や高齢者における社会不安などの要因があるため、今年は単純に来客数が増えるとは限らない。また、記録的な台風の影響で各地の取引先農場に被害が及んでおり、これまで生産者の名前や地域で売っていたメニューが継続しにくくなるのが店の売上に影響してこないか不安を感じている。農場や被災地域における経済的な影響も懸念されるなど、地域産業そのものへの不安もある。 |
| 観光型ホテル（スタッフ） | ・外国人観光客の団体の仮予約の催行率が不振なことの影響が懸念される。8月は国内の報奨旅行や学会需要で穴埋めしているが、全体では横ばいであった。 |
| 旅行代理店（従業員） | ・海外のテロに加えて、国内も台風による豪雨などの自然災害が収まる気配がないため、今後は厳しいまま変わらない。 |
| 旅行代理店（従業員） | ・特筆すべき大型案件などがないため、今後も変わらないまま推移する。 |
| タクシー運転手 | ・乗務員不足が続き、タクシーの稼働率が落ち込んでいるため、利用客は前年並みであっても会社としての売上はマイナスで推移する。 |
| タクシー運転手 | ・国内客、外国人観光客からの問い合わせ件数や予約状況が前年並みであるため、今後も変わらない。 |
| タクシー運転手 | ・今後2～3か月で社員数が増減するような動きもないため、今後も順調に変わらないまま推移する。 |
| 通信会社（社員） | ・客の収入が増えてこないため、今後も堅実な消費基調は変わらない。生活する側にとっても販売する側にとっても厳しい時期が続いている。 |
| 観光名所（職員） | ・最低賃金の引上げや人件費、工事費の上昇がみられるなかで、それに見合うだけの業績の向上がみられておらず、今後も見込めないため、景気は変わらないまま推移する。 |
| 美容室（経営者） | ・技術料金の平均単価に変動がなく、取扱商品の販売動向も一定の状況のため、当分は同じような傾向が続く。 |
| 住宅販売会社（経営者） | ・引き続き観光客の入込が好調に推移するとみられるが、消費や投資に対する影響はあまりみられないため、今後も景気は変わらない。 |
| 住宅販売会社（経営者） | ・徐々に消費税増税の再延期による影響が出てくるとみていたが、今のところ、分譲マンションの販売に大きなマイナスの影響はみられない。一方、客の所得が伸びていない現状であることから、今後、販売戸数が急に増加することも考えられない。 |

| | | |
|------------|---|---|
| やや悪くなる | 商店街（代表者） | ・消費が落ち込んでいるなかで、台風などの影響でこれから野菜の値段が上がるとの話が商店街の青果店から出ており、物価に影響が出そうなことから、今後の景気はやや悪くなる。 |
| | 商店街（代表者） | ・円高が進んだことに加えて、中国で海外で購入した商品を国内に持ち込む際の関税が上げられたことで、外国人観光客の購買意欲が低下し、高額商材を中心に売上が大幅に減少していることから、今後についてはやや悪くなる。一方、外国人観光客の入込は好調であり、旅の楽しみ方が変わってきていることから、外国人観光客の消費拡大に向けて次なるステップが求められている。 |
| | 商店街（代表者） | ・寒くなると客足が遠のくため、今後についてはやや悪くなる。 |
| | 百貨店（売場主任） | ・長期予報によると、9月以降は気温が平年よりも高くなる見込みであることから、秋物のジャケット、ブラウス、パンツ関連の動きが鈍くなるのが心配される。また、客の節約志向が変わらないことも気がかりである。 |
| | 百貨店（役員） | ・ここ2年間、来客数、買上客数、客単価のいずれも、ずっと低下傾向にあり、歯止めがかかっていないため、今後についてはやや悪くなる。 |
| | スーパー（店長） | ・ここ2～3年、前年割れの状況が続いており、景気が良くなると考えたことがない。特売の商品単価が下がっているなか、当然、客単価も上がってこないという状況にあり、今後の見通しが全く立たない。 |
| | スーパー（企画担当） | ・外国人観光客による購買の勢いが落ちてきていることに加えて、消費に関する報道も全体的に弱気の基調であり、そのことが消費者心理にマイナスの影響を与えているため、今後についてはやや悪くなる。 |
| | コンビニ（エリア担当） | ・値上げの影響が、たばこの販売量がじわじわと減少しており、それとあわせて酒類の販売量も減少している。また、し好品も生活防衛のためか、客の購買意欲が低下している。それ以外の生鮮品や食品はより価格の安いディスカウントストアに客が流出している。消費のデフレ傾向が続いているため、今後についてはやや悪くなる。 |
| | コンビニ（オーナー） | ・またデフレ傾向がみられるようになってきている。例えば、弁当は500円以上の商品の売上がダウンしている一方で、298円から498円の商品の売上がアップしている。こうした傾向は今後も続く見通しである。 |
| | その他専門店〔造花〕（店長） | ・景気を上向かせるような施策が特に見当たらないため、今後の景気はやや悪くなる。 |
| | 高級レストラン（経営者） | ・天候不良による野菜の高騰などの影響があり、これから冬に向かって景気が上向きような要素はない。 |
| | 旅行代理店（従業員） | ・8月の連続した台風上陸により、農業被害が出ているため、秋以降の旅行需要に影響が出ることが懸念される。 |
| | 旅行代理店（従業員） | ・9月に続き10～12月も先行受注の総販売額が前年を下回っている。 |
| | 旅行代理店（従業員） | ・天候不良などで今年の農作物は危機的状況にあるといわれており、農業が主要産業である当地の景気が好転する要素がない。 |
| タクシー運転手 | ・地元の景気回復にはまだ時間がかかりそうであり、人口減少などの影響も懸念される。地方では景気の先行き不透明感が強いことから、今後についてはやや悪くなる。 | |
| 通信会社（企画担当） | ・毎年同時期に発売している新商材に対する期待の声予想以上に小さく、札幌圏を中心とした都市部の若者からの引き合いも例年よりも少ないため、今後については期待できない。 | |
| パチンコ店（役員） | ・台風による第一次産業の被害から、今後の野菜などの価格高騰は避けられない。災害復興で土木建築業が多少潤うとみられるが、全体的には景気が良くなる要因が見当たらない。 | |
| 悪くなる | 商店街（代表者） | ・オフシーズンに向かうため、来客数が減少することになる。 |
| | コンビニ（エリア担当） | ・天候不順や漁業の不振に加えて、競合店の出店も予定されていることから、当地区での売上回復は全く見込めない。 |
| | タクシー運転手 | ・多雨により当地の基盤産業である農畜産業に多大な影響が出ており、今季の回復は厳しいとの憶測が大勢を占めていることから、今後の景気は悪くなる。 |
| | その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員） | ・観光の最盛期も終わり、例年と同様に客が減少することになる。 |
| 企業 | 良くなる | - |

| | | | |
|--------------------------|-------------------------|--|---|
| 動向 関連 (北海道) | やや良くなる | 通信業（営業担当） | ・見込み案件数の増加など、先々のIT投資に関して、ここ最近よりも積極的な計画を耳にする機会が増えていることから、この先の景況感は現状よりも上向きになる。 |
| | | その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当） | ・補正予算の執行に加えて、災害復旧関連工事が本格化してくることから、今後の景気はやや良くなる。 |
| | | その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員） | ・客先の仕事量は確保できているため、販売量が増加傾向で推移することが見込める。 |
| | 変わらない | 食料品製造業（従業員） | ・今のところ、売上が大きく増減するような要因は見当たらないため、今後も変わらない。 |
| | | 家具製造業（経営者） | ・円高によるデフレ進行などにより、現政権の経済対策効果が薄れてきており、今後は変わらないまま推移する。 |
| | | 建設業（従業員） | ・補正予算の内容次第で景気がやや良くなる可能性がある。 |
| | | 輸送業（支店長） | ・現場物件など、すでに輸送が決まっている商材がある。また、これから農産物の道外輸送が繁忙期を迎えるため、8月を底に徐々に輸送量が上向きになることを期待している。ただ、先般の台風の影響や今後の天候の動向なども考慮すると、景気が良くなるとまではいえない。 |
| | | 司法書士 | ・今後9～11月の3か月間で、土地取引や建物建築に多少の伸びが出てくることを期待しているが、高齢化が進んでいる現状において大きな期待は持てない。 |
| | | コピーサービス業（従業員） | ・客先の慎重な姿勢は一向に変わらないため、今後も変わらない。 |
| | | その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長） | ・新規の引き合いが低調なことから、回復基調にあるとは考えられない。天候不順による産業全体への影響も心配である。 |
| その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） | ・今後2～3か月程度は今と同様の状況が続く。 | | |
| やや悪くなる | 食料品製造業（従業員） | ・台風により北海道の野菜が影響を受けており、原材料価格の高騰が見込まれるため、今後についてはやや悪くなる。 | |
| | 建設業（経営者） | ・公共工事の早期発注によって今後は秋枯れ状態になる。ただ、補正予算が10月には成立しそうなため、マインド的には良くなるが、年度内はほとんどが契約止まりで、実際の工事着手は来年の4月以降になる。予算規模は前年よりも増額されそうであるが、半分が農業土木工事に充てられるなど、相変わらず偏りがみられる。 | |
| | 建設業（従業員） | ・8月の台風による被害で交通網が寸断され、特に道東地域での建築工事の進捗に多大な影響が生じることが見込まれる。 | |
| | 輸送業（営業担当） | ・首都圏の猛暑により、北海道産品の供給が増え、物流も活発化すると見込んでいたが、8月に台風が3回も上陸したことで道産品自体が影響を受けたことに加えて、海路も陸路も停滞し、物流も大打撃を受けてしまっているため、今後についてはやや悪くなる。 | |
| | 金融業（従業員） | ・円高進行もあって観光のピークアウトが懸念される。8月の台風被害が農業だけにとどまらず、幅広い業種に悪影響を与えることが懸念される。大型経済対策による道内経済への好影響が見込めるものの、全体としてはマイナス要因が大きく、やや悪化が見込まれる。 | |
| | 司法書士 | ・不動産情報誌による売買希望物件の掲載数が例年よりも減少してきているため、今後、建物の新築数は更に減少することになる。 | |
| | 司法書士 | ・依然として景気回復の兆しがみえないため、景気回復に向けた対策が必要である。給与の増える見込みが薄いことで住宅着工が低迷している現状であるため、実際に消費者の収入が増加しなければ、消費が拡大する要素もない。 | |
| | その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者） | ・受注先や同業他社で案件のキャンセルや縮小の動きがずい分と出てきているため、今後についてはやや悪くなる。 | |
| 悪くなる | - | - | |
| 雇用 関連 (北海道) | 良くなる | - | - |
| | やや良くなる | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・小売業やファストフードなどの飲食店の求人が減少したものの、前月に求人数の減った宿泊業が8月に入って増加に転じたことから、今後についてはやや良くなる。ただ、全体としては、最近の傾向と同様に過去2年間の実績を下回って推移している。 |
| | | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・年末商戦に向けて採用意欲が高まる時期であるため、今後についてはやや良くなる。現政権の経済対策を背景にした力強い動きが出てくることを期待している。 |

| | | |
|--------|----------------|--|
| | 職業安定所（職員） | ・有効求人数の増加に伴い、有効求人倍率が1.11倍と14か月連続で1.0倍超えの高水準が続いていることから、今後についてはやや良くなる。 |
| | 学校〔大学〕（就職担当） | ・6月1日から大手企業の採用試験や内定出しが始まり、7月一杯で各企業の採用活動がほぼ終了するとみられていたが、8月に入っても一部の大手企業と中小企業の採用活動が活発である。まだ必要人数を採りきれていないためとみられ、10月一杯までは今の状況が続く。 |
| 変わらない | 人材派遣会社（社員） | ・企業における営業活動は現状のまま推移すると見込まれるため、派遣や中途採用のニーズは高止まりのまま推移する。ただ、企業が求める人材のスキルは高いため、正社員の採用がスムーズに進まない状況が続くことになれば、派遣では代替できないコアな業務も多いため、企業業績に影響が出てくる懸念される。 |
| | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・今後については、なだらかな下降線をたどることになる。 |
| | 職業安定所（職員） | ・新規求人数が全体的に減少傾向にあるなか、前年と比べて減少幅が縮小してきているが、職業別にみると、医療技術者と社会福祉の専門職、販売の職業、サービスの職業など、一部の職業で新規求人数が増加しているものの、ほとんどの職業で減少しており、特に求職者の多い事務的職業では10%を超えるマイナス、軽作業では正社員以外がプラスとなっている一方で正社員が15%以上のマイナスとなるなど、職業間でのばらつきがあることから、今後も雇用環境は変わらないまま推移する。 |
| | 職業安定所（職員） | ・北海道新幹線の開業効果もあり、観光関連は好調を維持しているが、人口減少の影響などでスーパーの店舗閉鎖などもみられるため、全体的には今後も変わらないまま推移する。 |
| やや悪くなる | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・若年労働力の不足と農産物の作況指数の悪化から、地域の生産性が落ちることが懸念される。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・今年初めて求人広告件数が前年を上回ったものの、これまでのトレンドから今回の結果は一過性のものとみられ、今後についてはやや悪くなる。 |
| | 職業安定所（職員） | ・当地の百貨店が9月一杯で閉店するため、今後、管内で大量の離職者が発生すると見込まれているが、希望職種などの求職条件に見合った求人の増加が見込めないことから、雇用状況の悪化が懸念される。 |
| 悪くなる | - | - |